

まなびフェスト中間評価

※平均値は、本校の教育活動に関わる以下の設問について、以下の回答規準に沿って回答いただいたものを4点満点で数値化したもの。

- 4 よくできている よくあてはまる 3 できている あてはまる
2 あまりできていない あまりあてはまらない 1 全くできていない 全くあてはまらない

<みずから学ぶ子ども>

No	項目	平均値
1	「わかった」「できた」が実感できる授業を行うことができている。	3.22
2	学年に応じた家庭学習の習慣を身に付けるよう指導を徹底している。	3.00
3	児童の望ましい読書習慣が身に付くような取り組み・指導を行っている。	2.89
関連特記事項	<p>○成果、▲課題、※改善提案 No1について ▲先生方から見た評価がまだまだ改善の余地がありそうなので更に期待しています。 ▲授業のユニバーサルデザインの意識をもって、本当の「わかった」「できた」への喜びにつなげていただきたい。 No2について ※家庭学習は、1の目標を充実させるためのものだと思うが、学校の教科にない知識に関する学習も必要では。例えば、鳥や虫・花・星などの知識も増えれば大人の人たちとも自然に会話がなりたって広い心も養われるのでは。 No3について ※町立図書館が出している読書通帳を使うなどするのもよいかと思う。</p>	

<思いやりのある子ども>

No	項目	平均値
4	児童が自分から進んで挨拶ができるよう指導するとともに、自らも実践している。	3.56
5	児童の自己肯定感を育むような言葉かけや取組ができている。	3.44
6	縦割り班活動や清掃活動の指導を通して、児童の自己有用感を育てている	3.78
関連特記事項	<p>○成果、▲課題、※改善提案 No4について ※とても元気なあいさつしてくれる子どももいるが、学校外で知らない人に挨拶をするということは難しいと思う。私が挨拶するときには、ほとんどの子どもが返してくれる。 No5について ※子どもの自己肯定について親はどう思っているのでしょうか。内容が他からみたときと合致しなければ単なる独りよがりと思われる場合もあるし、謙虚さを忘れてはならないと思う。 ※PEPトークの文字が目標やお便りなどでも目にします。 No6について ※異学年交流は、今後も続けてほしい活動です。</p>	

<身体をきたえる子ども>

No	項目	平均値
7	業間マラソンや外遊びの奨励など運動習慣を育むための必要な指導を行っている。	3.11
8	「早寝・早起き」「食育」など、基本的な生活習慣を育むために必要な指導を行っている。	3.22
9	学期に一回以上の情報モラル指導などメディアコントロールに関わる指導を行っている。	3.11
関連特記事項	○成果、▲課題、※改善提案 No7について ※水泳の期間が短かったように感じる。記録会が無くなったのは何故か。中学校にプールがないため、中学生の水泳の授業は限られる。このことから小学生の間に泳力を身につけることは大事なことであると感じる。 No9について ※各家庭への指導の浸透は個人差がありなかなか思う様に進まない所もあるかと思う。	

【学校教育活動に関わること】

No	項目	平均値
10	学校は、教育活動の様子を学校だよりや学級通信、連絡帳、懇談会などを通して行っている。	3.89
11	学校は、登下校の交通安全などの安全指導を十分に行っている。	3.78
12	学校は、いじめ防止基本方針に掲げられている取組を行っている。	3.44
13	学校は、外部人材や環境を生かした教育活動に努めている。	3.22
関連特記事項	○成果、▲課題、※改善提案 No13について ※防災学習の取り組みなど、外部の人材を活用して良い。 ※コロナ禍を経て新しいやり方もあると思う。	

<その他>

その他	※今後に向けて ・「民生委員」と呼ばれている人たちは、正式には「民生委員兼児童委員」だが、学校との接触はほとんどない。懇談会のようなものはできないだろうか。	
-----	---	--